

2024年3月期

決算説明会

2024年5月21日

 菊水化学工業株式会社



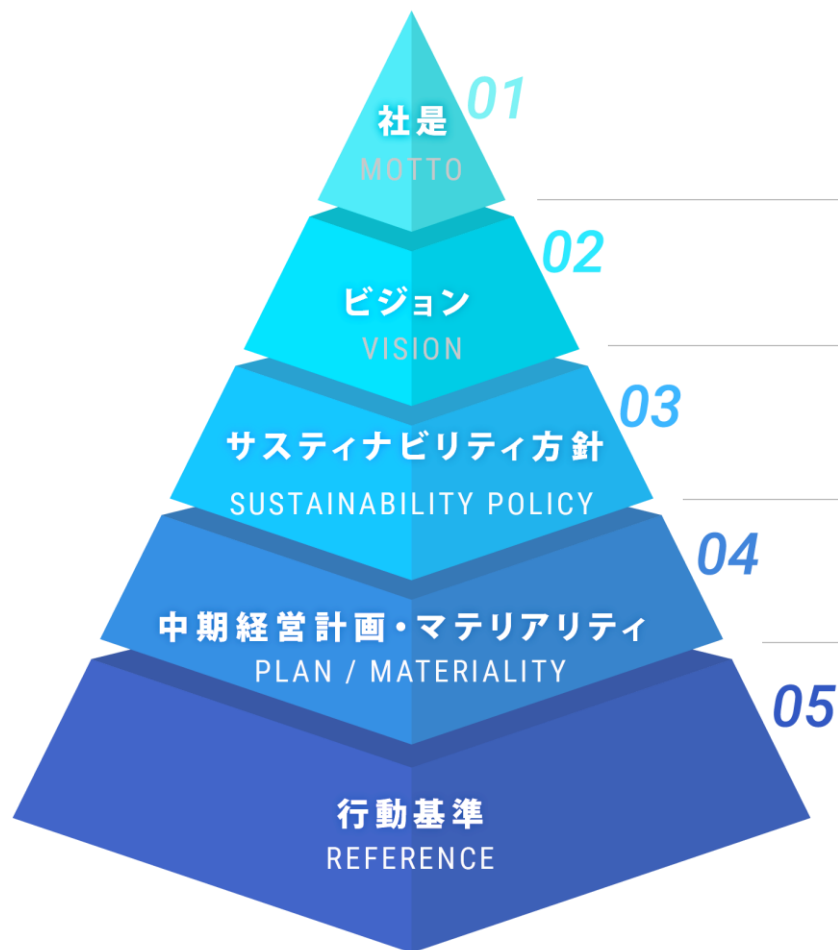
会 社 名	菊水化学工業株式会社
本 社	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目 3 番 3 号AMMNATビル15階
創 業	1959年5月21日（昭和34年）
資 本 金	1,972,735,695円
従 業 員 数	457名（2023年3月末）
事 業 内 容	塗料および塗材の製造、加工ならび販売 土木用および建築用等の化学工業品の販売 土木材料および建築材料の製造、販売ならびに施工
事 業 拠 点	工場〔愛知県（犬山市、瀬戸市）、岐阜県、福岡県、茨城県、滋賀県〕 建材塗料事業本部〔4ブロック（15営業拠点）、日本スタッコ営業部、海外部、技術部〕 住宅事業本部〔4ブロック（17営業拠点）〕
グ ル ー プ 会 社	株式会社ツーアール 菊水香港有限公司 菊水建材科技（常熟）有限公司 台湾菊水股份有限公司



企業理念

日本が経済大国への道をひた走りはじめた1959年、キクスイは誕生しました。

産業界全体が大量生産に沸きあがり、高度経済成長を続ける中、私たちが企業理念に掲げたのは、人や社会、更には地球環境にとって何が大切かの追求でした。そして、つねに新たなテーマへの挑戦を続け、グローバルな視野に基づいた社会貢献が、高品質で高機能、かつ環境への安全性を十分に誇れる数々の建築仕上塗材を生み、同時に環境共生企業として社会に貢献するキクスイの存在を確かなものとしています。



みんなのために よりよい商品 ゆたかな愛情

環境共生時代にふさわしいものづくりで、持続可能な社会に貢献する

Repaint the future～未来に向けた私たちの思い～

製品を通じた街づくり／安心して働ける環境づくり／ガバナンスの強化と充実

基本方針・品質方針・コンプライアンス方針

製品年表

65th
Anniversary

菊水化学工業は、1959年に創業者が色どりのない街並みを見て、「街を明るくしたい」との思いから塗装工事会社として創業しました。その後、世の中になかった新しい塗料の開発を志し、会社を仕上塗材のメーカーへと転換させ、数多くの無機・水系製品を開発・製造・販売し現在に至っています。

1959
創業

1972

外装薄塗材 Si
シリカリシン



両者のパッケージ



1990

建物を蘇らせるシート状装飾材
モダンアートストーン



2000

1液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料
水系ファインコートシリコン



2009

ポリマーセメント系基礎巾木用塗材
基礎ガード



2023

CO₂削減・長寿命化に貢献する低炭素対応型塗料
BMBシリーズ



1981

結露防止塗材
ケツロナイン ロングセラー製品



1994

打放しコンクリート保護システム
SA工法



2004

カチオンポリマーセメント系下地調整塗材
カチコテSP



2023

CO₂削減に貢献する次世代の新しい素材
ジオアース

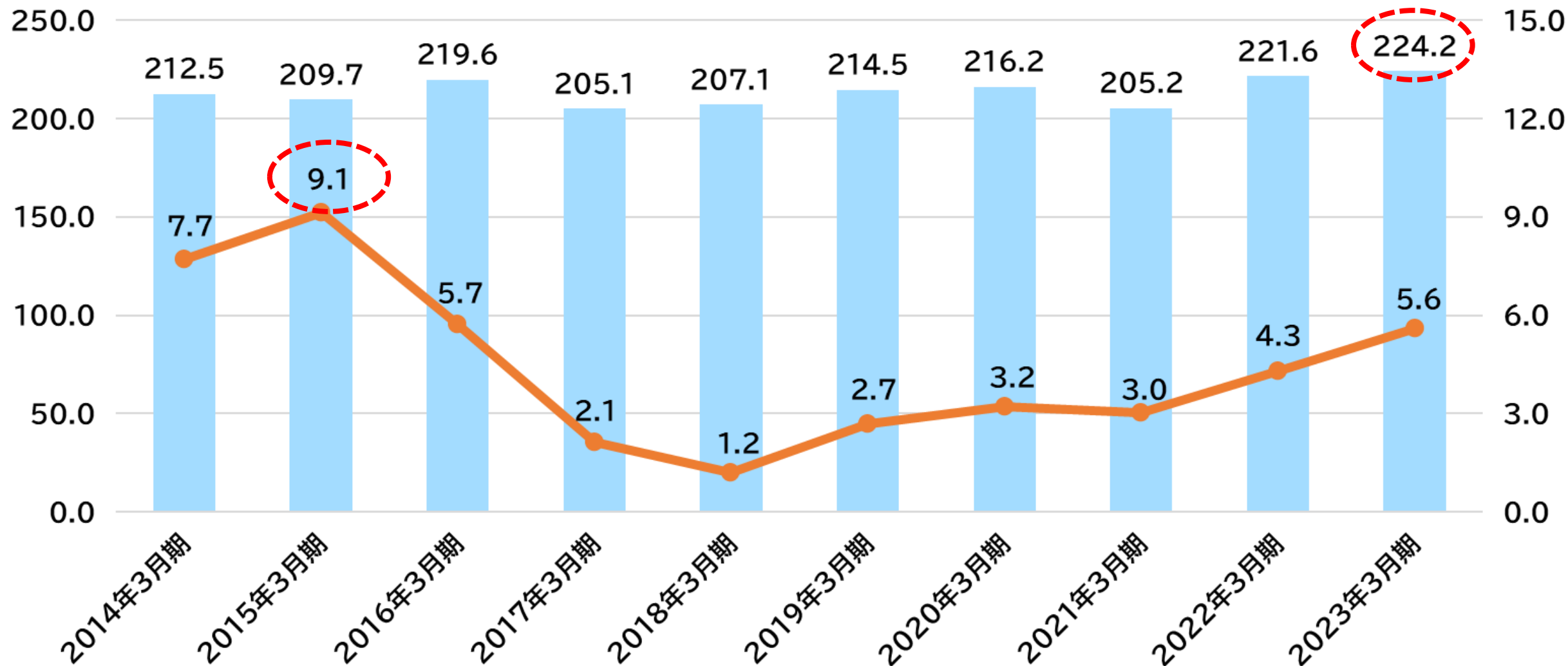


年度別 連結業績の推移〔過去10年〕

売上高 営業利益

(単位：億円)

(単位：億円)



1. 2024年3月期 決算概要

2. 2025年3月期 業績予想

3. 2025年3月期 事業活動

4. 中期経営計画の進捗

2024年3月期 業績ハイライト(連結)

- ✓ 2019年3月期において、一部不適切な会計処理が行われていたことが昨年判明した事をうけ、2023年10月10日付けで調査委員会を設置しました。この事に伴い、「2024年3月期第2四半期決算」発表が、2023年12月22日開示と遅延しました。また、再発防止プロジェクトを発足し、全社挙げて再発防止に取り組んでいます。
- ✓ 2024年3月期第2四半期は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した事に伴い、製品販売及び工事受注も回復傾向で進みましたが、原材料価格及びエネルギー価格高騰への対策とする価格転嫁への対応が遅れ、連結売上高（前期比0.1%減）、連結営業利益（前期比69.6%減）ともに、前期割れの結果となりました。
- ✓ 2023年10月1日付け受注分より、原材料価格及びエネルギー価格高騰への対策とする価格改定を全製品対象に実施しました。通期結果は、連結売上高（前期比0.1%減）、連結営業利益（前期比2.7%減）と前期割れとなりましたが、利益面において改善がみられました。

連結売上高

22,392

百万円

（ 前期比
0.1%減 ）

連結営業利益

554

百万円

（ 前期比
2.7%減 ）

連結経常利益

635

百万円

（ 前期比
2.3%減 ）

連結当期純利益

376

百万円

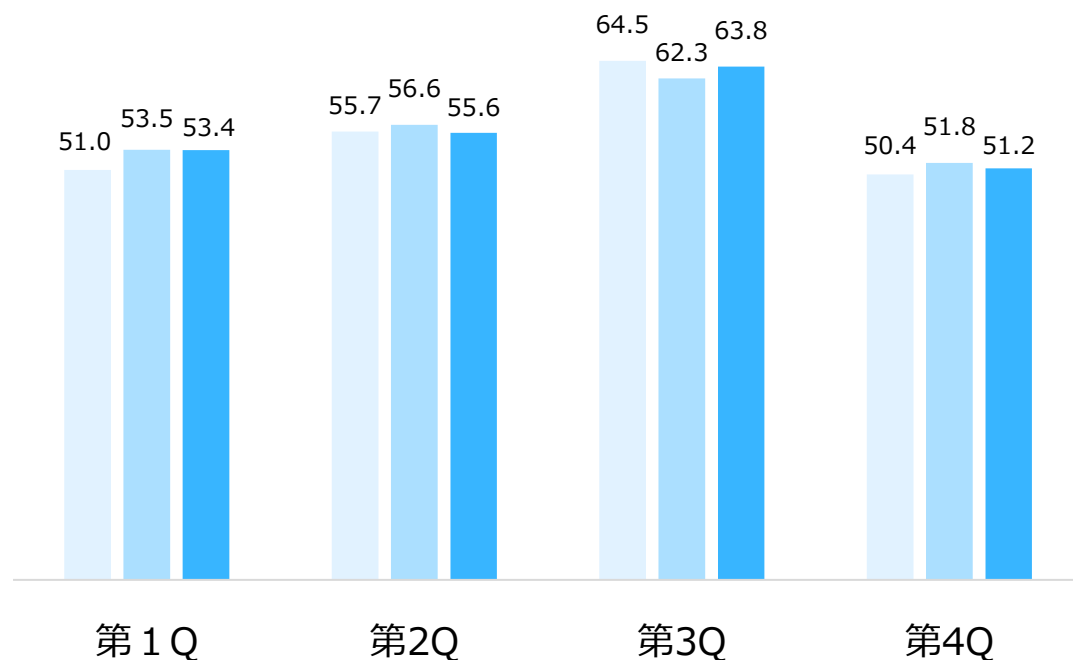
（ 前期比
52.8%増 ）

四半期別の業績推移(連結)

【売上高】

- 住宅リフォームの市況回復が遅れ受注減少
- 6つのソリューション（付加価値）の提案活動
- 2023年10月の受注より価格改定を実施
- 新製品12種類を上市し拡販に取り組む

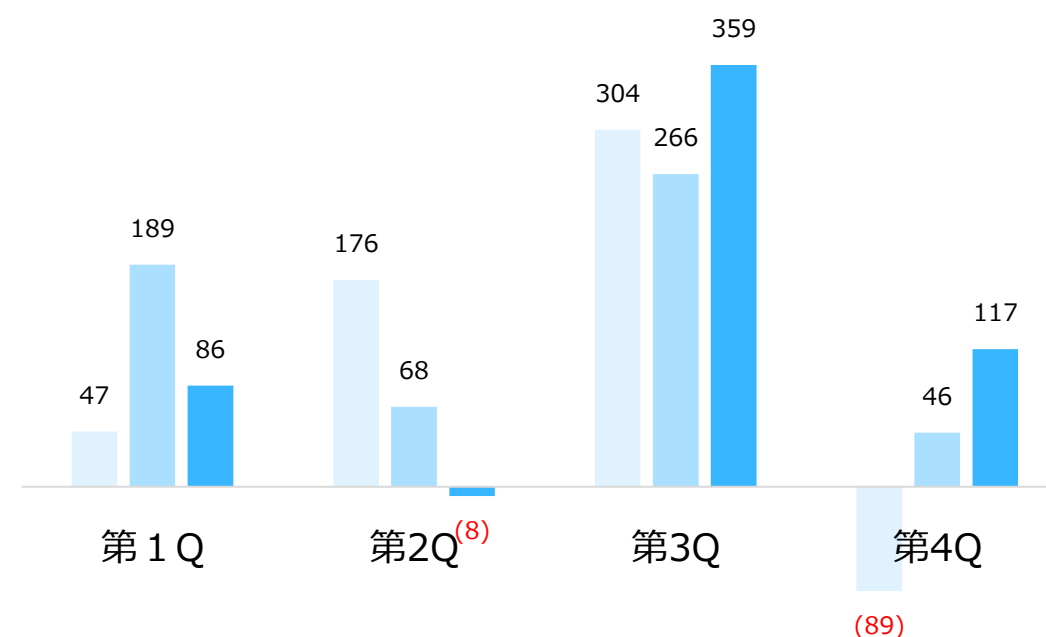
■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期 ■ 2024年3月期



【営業利益】

- 原材料価格及びエネルギー価格の高騰により、製品原価が増加
- 不適切会計処置に関わる経費の計上
- 価格改定の実施により、第3Qより回復傾向で推移

■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期 ■ 2024年3月期



新製品の上市 <期間:2023/4~2024/3>

➤ 環境に配慮した12種類の水系／無機製品（仕上塗材）を開発しました。

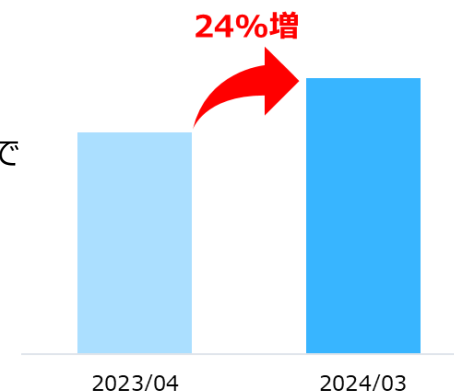
	製品名	上市日
1	ジオアース#100	2023/06
2	ジオアース#200	2023/06
3	ジオアース#300	2023/06
4	水系ファインコートフッ素BMB	2023/06
5	水系ファインコートフッ素遮熱BMB	2023/06
6	水系ファインコートフッ素屋根用BMB	2023/06
7	水系ファインコートフッ素遮熱屋根用BMB	2023/06
8	水系バンノウプライマーエポ	2023/06

	製品名	上市日
9	エイジング工法	2023/12
10	K Sロックスタッコ	2024/01
11	MWS	2024/02
12	MWP	2024/02

【販売実績】※金額比

製品カテゴリー：水系／無機（仕上塗材）

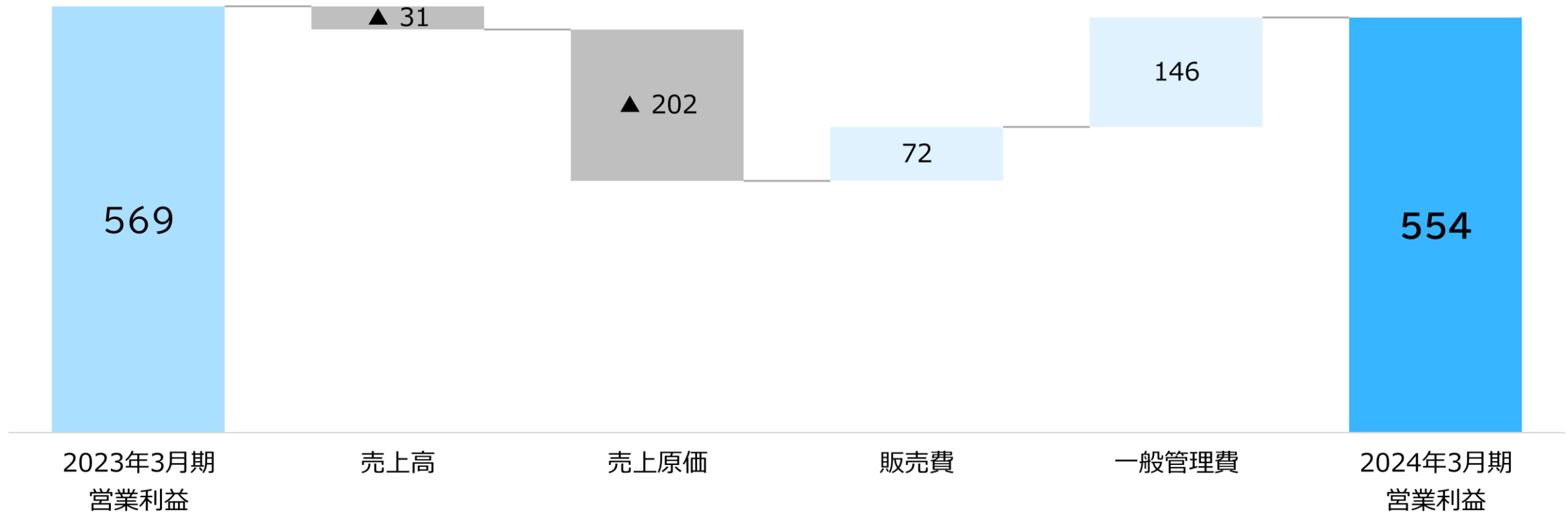
新製品を含み、同カテゴリー製品は、前期比で24%増加。



2024年3月期__営業利益増減の要因分析(連結)

- 町場市場（戸建住宅）の低調推移により売上高が減少。
- 原材料価格及びエネルギー価格の高騰により製品原価が増加。
- 販促ツールのデジタル化及び在庫管理を徹底する事で販売費が減少。
- 人員減及びグループ会社（菊水化工）の清算により一般管理費が減少。

(単位：百万円)



1. 2024年3月期 決算概要

2. 2025年3月期 業績予想

3. 2025年3月期 事業活動

4. 中期経営計画の進捗

2025年3月期業績予想(連結)

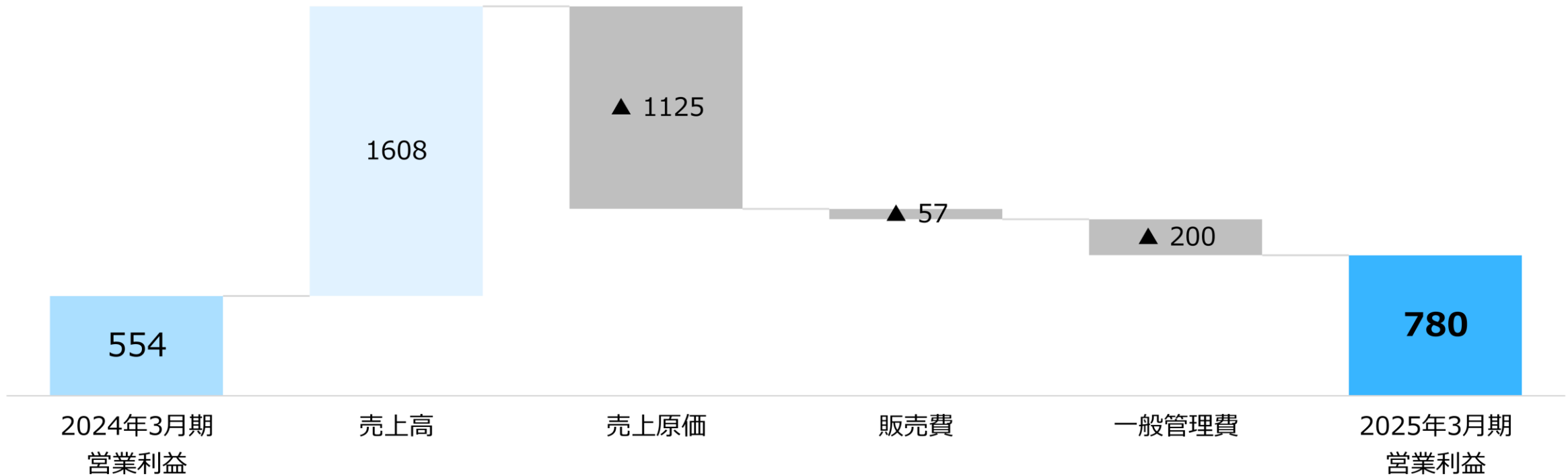
(単位:百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	22,392	24,000	1,608	+ 7.2%
営業利益	554	780	226	+ 40.8%
経常利益	635	798	163	+ 25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	376	424	42	+ 12.7%

市場動向	建築塗料市場は、原材料価格及びエネルギー価格高騰の影響による物価上昇、人手不足による工期の遅延など、不確定要素はありますが、改修現場を中心に回復傾向で推移しています。	事業活動	建材塗料事業	✓ 6つのソリューション（付加価値）の提案活動。 ✓ インフラメンテナンス市場での基盤構築。 ✓ 責任施工体制の構築。
			戸建住宅事業	✓ 施工管理体制の強化。 ✓ DXによる生産性向上。 ✓ コンプライアンスの強化。

2025年3月期__営業利益増減予想(連結)

- 6つのソリューションを基にした製品販売、及び工事受注活動により売上高の増加を予想。
- 原材料価格及びエネルギー価格の高騰により製品原価が増加、及び工事管理体制の強化により売上原価の増加を予想。
- 給与改定及び働き方改革推進（人材育成・デジタル化）に伴う経費計上により一般管理費の増加を予想。

(単位：百万円)

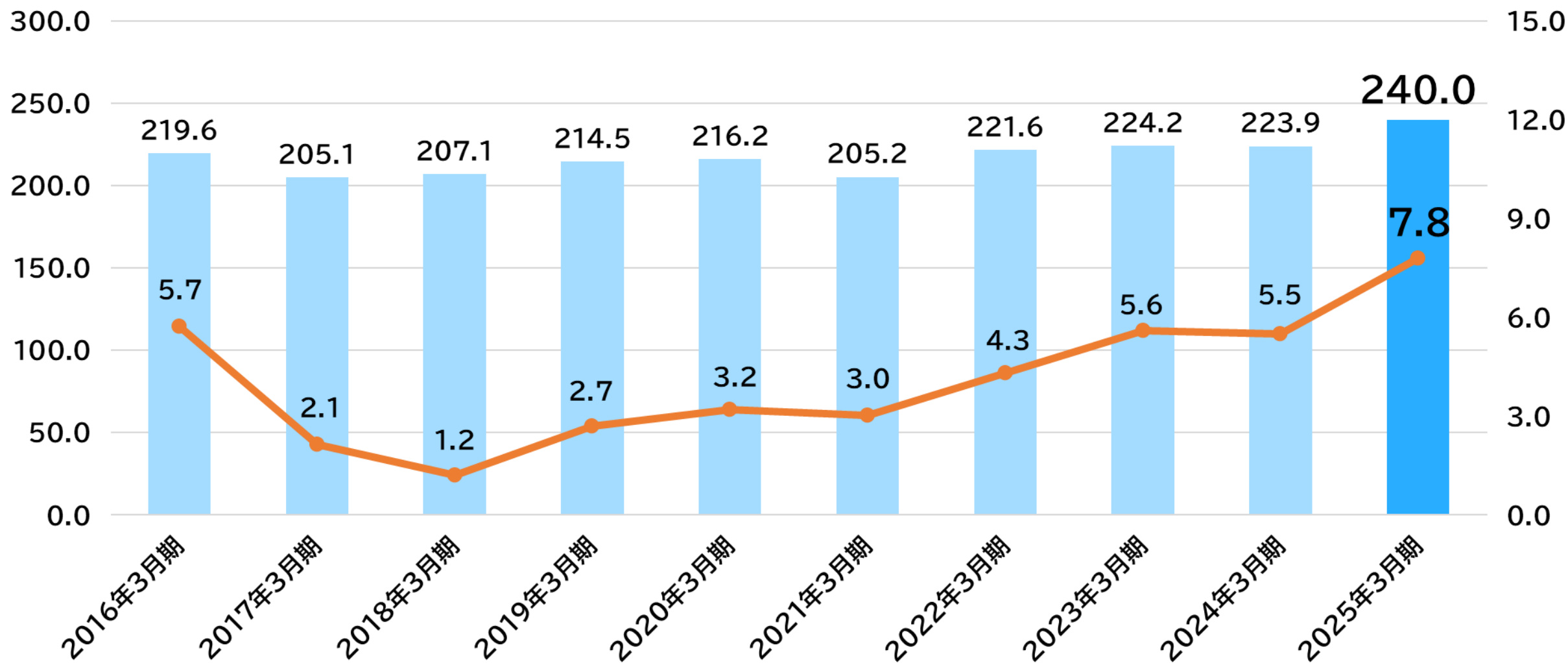


年度別 連結業績の推移〔過去10年〕

売上高 営業利益

(単位：億円)

(単位：億円)



1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. 2025年3月期 事業活動
4. 中期経営計画の進捗

建物の困りごととはキクスイにお任せください！！

～ 大切な資産を、適切な工法で維持・向上させます ～



環境対策

アスベスト（石綿）含有建材の取り扱いには、居住者、労働者、作業者の安全を確保するためにも、適正な調査・分析結果のもと、専門知識と経験を持つ企業が求められています。



省エネ対策

太陽光で熱せられた屋根・外壁は、室内温度を上昇させ、場合によっては労働環境に影響を与えます。空調設備だけに頼ることのない、温室効果ガス排出を低減するための対策も必要です。



美観回復

打放しコンクリートは、経年劣化とともに新築当時の質感が損なわれていきます。従来の改修方法では、新築当時の質感を再現するのが難しく、塗装で塗り潰しの選択をする場合もあります。



剥落対策

外壁の磁器タイル剥落は、住民及び通行者に危害を加える可能性があります。また、修繕手直し方法によっては、高級感のある意匠性が損なわれ資産価値低下に繋がる場合もあります。



機能回復

コンクリートの構造物は、立地条件や気象条件・経年劣化により、本来の機能（強度・耐久性・耐火性など）が低下し、長期的な維持保全が困難になる場合があります。定期的な診断、劣化原因に対する適切な処置により、建物や構造物の長寿命化対策が求められています。



漏水対策

漏水は、原因追及が難しいとされていますが、住環境に与える影響も大きく対策は急務とされています。



事業活動__メーカー責任施工

1959年名古屋市内に、塗装工事会社として創業。その後、世の中になかった製品の開発を志し、塗料・仕上塗材の製造メーカーに変換しました。今でも、製品を開発するノウハウと施工のノウハウで、建物や構造物の困り事を解決する完成した製品（塗膜）を提供する事が、社会的責任と捉え事業活動を展開しています。

安心できる調査・診断



豊富な製品ラインアップ



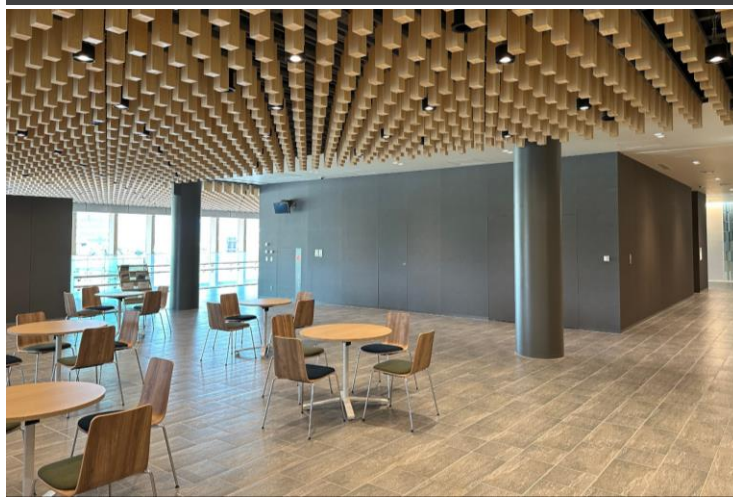
安定した施工品質



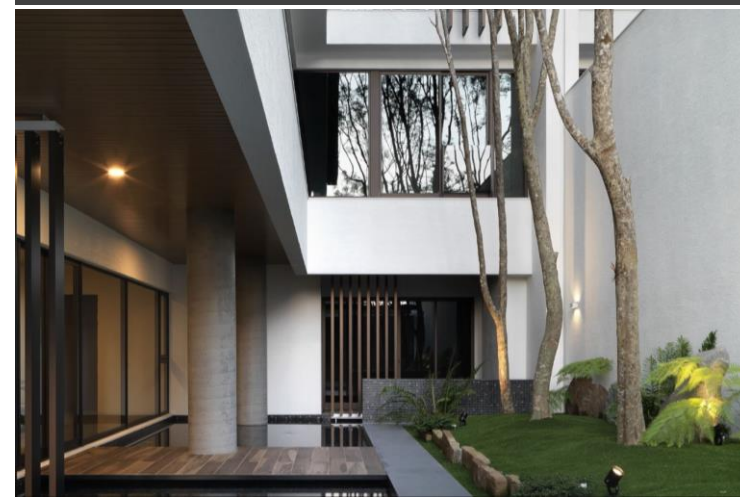
戸建住宅(個人)



会議施設(公共)

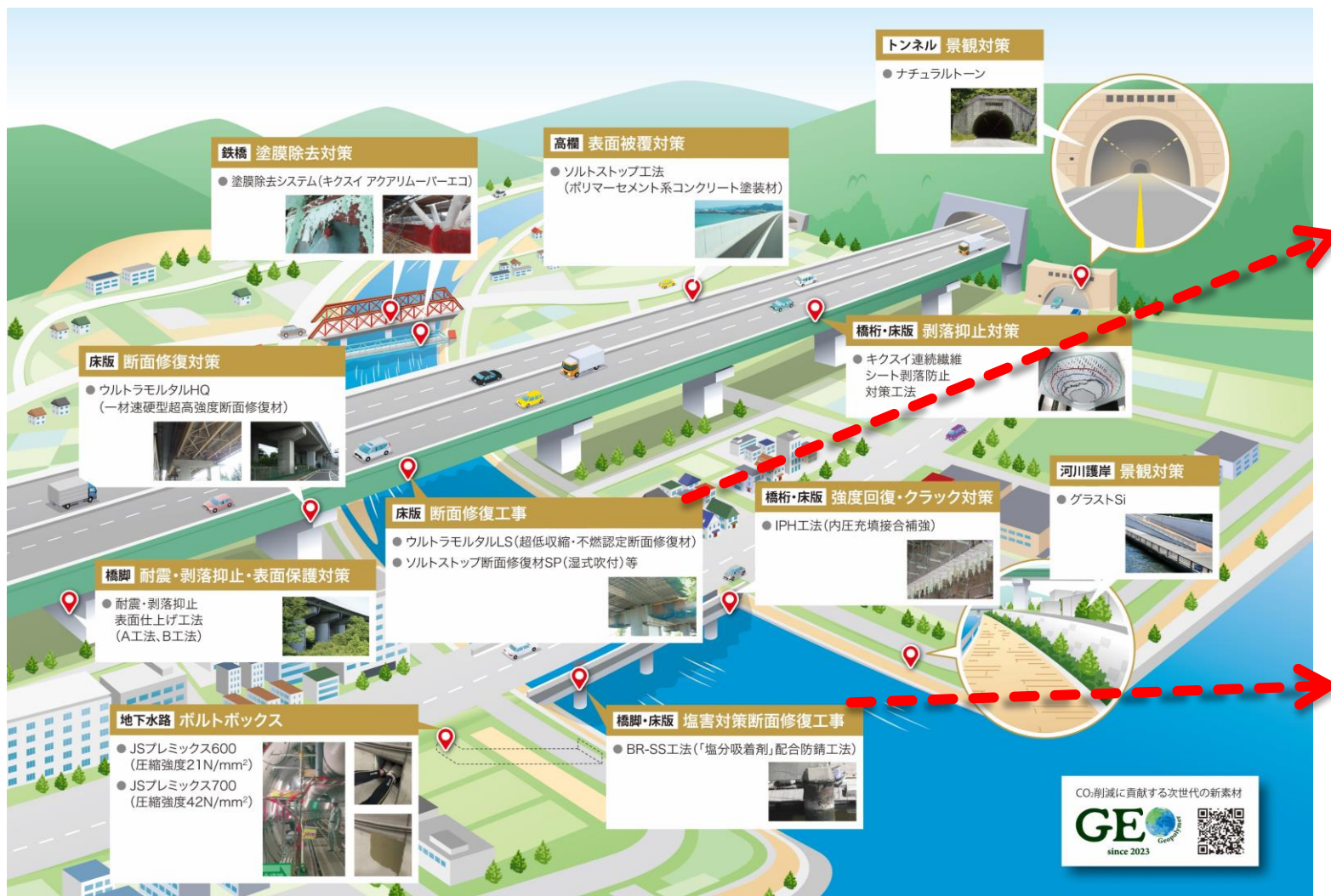


企業施設(法人)



事業活動__インフラメンテナンス

我が国の社会資本ストックは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、急速に老朽化する事が懸念されています。今後20年間で、建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に高くなる見込みであり、このように一斉に老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新する事が求められています。※国土交通省_社会資本の老朽化の現状と将来より抜粋



床版 断面修復工事



超低収縮・不燃認定
断面修復材
「スタッコ ウルトラモルタル・LS」

断面修復用ポリマーセメント
モルタル
「ソルトストップ断面修復材SP」等

橋脚・床版 塩害対策断面修復工事



「塩分吸着剤」配合防錆工法
「BR-SS工法」

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 業績予想
3. 2025年3月期 事業活動
4. 中期経営計画の進捗

環境共生時代にふさわしいものづくり



中期経営計画__重点施策

収益基盤の構築

経営資源を集約し、生産性と製品競争力の向上を図る。

- ・2022年4月_日本スタッコを吸収合併。
- ・2022年11月_土地・建物を取得。
- ・2024年3月_菊水化工の清算結了。

環境と健康に配慮した製品の普及・拡大

水系・無機の製品を中心とした開発・製造・販売に努め、有害物質含有及び排出物の低減を図る。

- ・2023年6月「ジオアース」を上市。
- ・2023年6月「水系ファインコートフッ素BMB」を上市。

環境を意識したサプライチェーン

循環型を意識した事業活動に挑み、人や環境に害を与えないサプライチェーンの構築をめざします。

- ・環境配慮型製品の開発において、化石資源を再生可能な原材料に置き換えが可能な原材料調達の推進を継続。

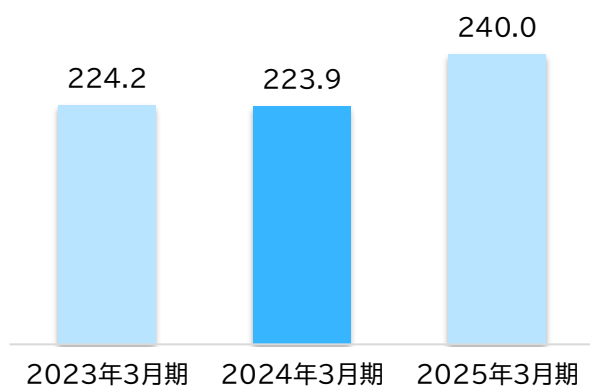
働き方改革の加速

働く人々が、健康でいきいきと活動できる環境への整備。

- ・サステナビリティ推進委員会発足。
- ・社員提案制度「T-1グランプリ」開始。
- ・健康経営優良法人2024の認定取得。

中期経営計画__財務目標

連結売上高



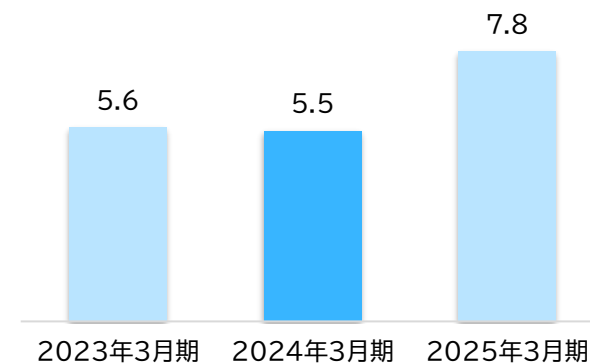
【1年目】

目標:226.0億円
実績:224.2億円
(目標比0.8%減)

【2年目】

目標:240.0億円
実績:223.9億円
(目標比6.7%減)

連結営業利益



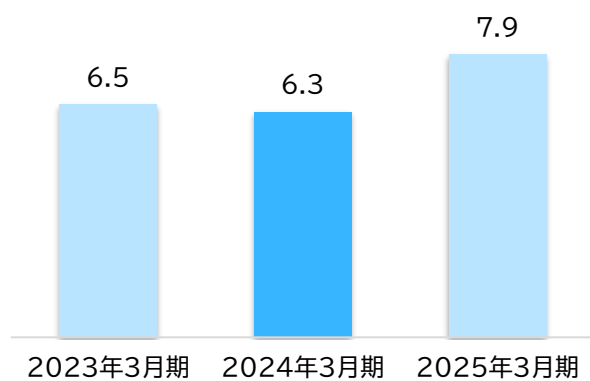
【1年目】

目標:4.8億円
実績:5.6億円
(目標比16.7%増)

【2年目】

目標:6.3億円
実績:5.5億円
(目標比12.7%減)

連結経常利益



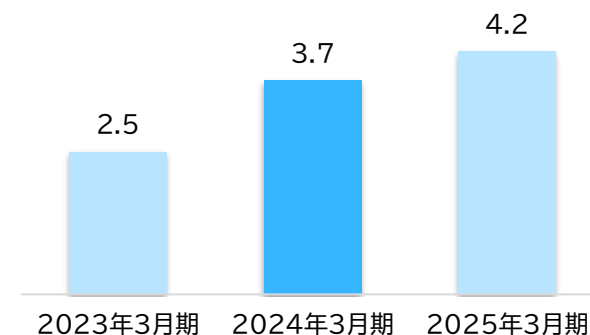
【1年目】

目標:5.1億円
実績:6.5億円
(目標比27.5%増)

【2年目】

目標:6.6億円
実績:6.3億円
(目標比4.5%減)

親会社株主に帰属する当期純利益



【1年目】

目標:2.4億円
実績:2.5億円
(目標比4.1%増)

【2年目】

目標:3.8億円
実績:3.7億円
(目標比0.1%減)

社会課題への取り組み__サステナビリティ活動

当社は、持続可能な社会の実現に向けて サステナビリティに関するリスクおよび課題・対策について協議・検証するため、代表取締役社長を統括責任者、サステナビリティ担当役員を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

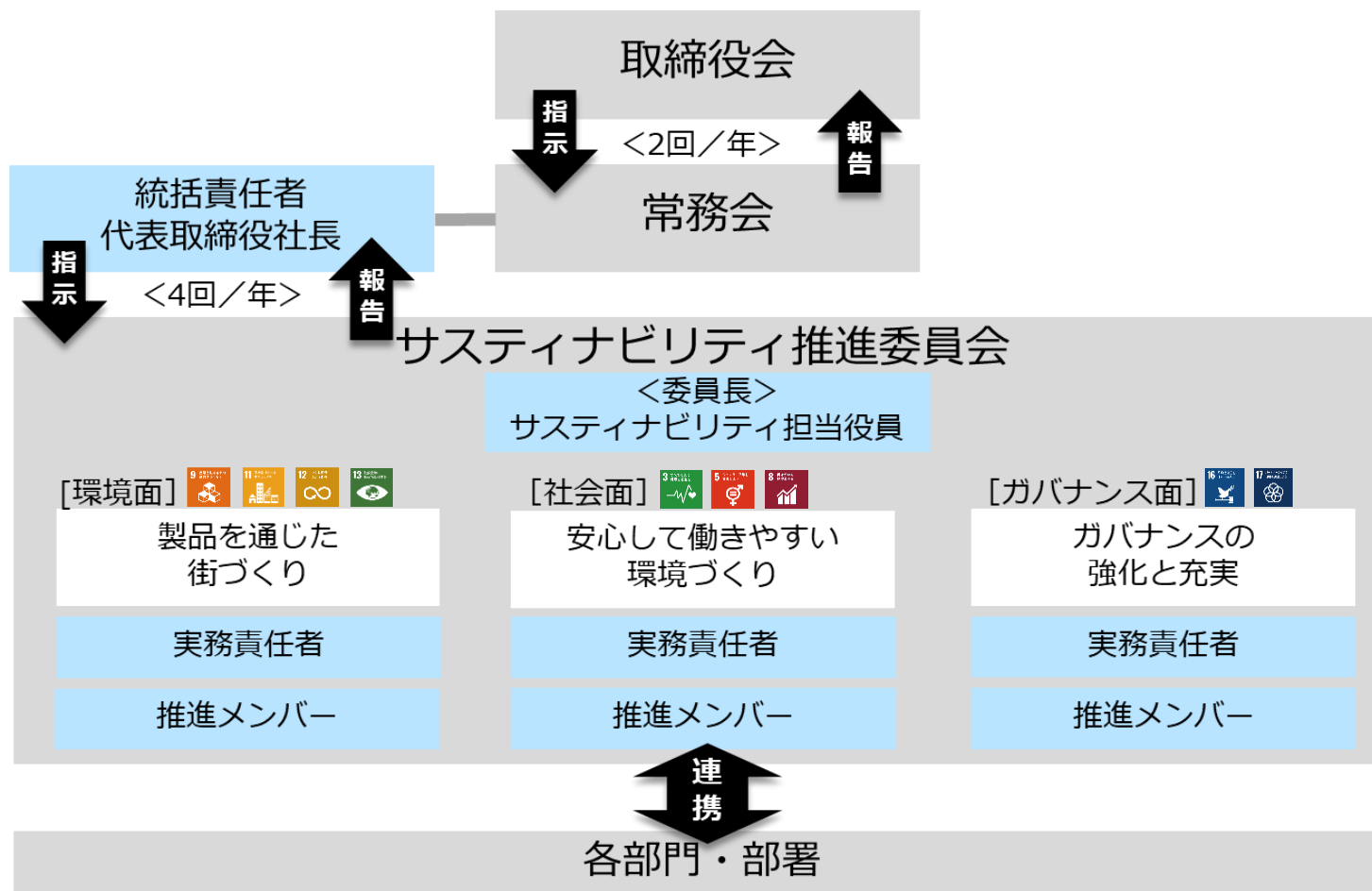
サステナビリティ方針

Repaint the future

未来に向けた私たちの思い

当社は、サステナビリティな経営を推進する上で、何もしなくてはくすんでしまう未来を、菊水化学の力で明るく塗り変えたいとの思いと、人を大切にしたい、自然を大切にしたい、人々の暮らしや街を大切にしたいという想いを込め『Repaint the future』を方針として掲げました。

当社が、2050年、そして100周年である2059年に向けて、事業が成長し、存続していくためには、常に思考を働かせ革新的なアイデアを創造し続けることが重要であると考えています。また、地球温暖化をはじめ、様々な環境問題に対して、何ひとつ犠牲にすることなく、明るい未来へ続いていく環境共生社会の実現に貢献していきます。

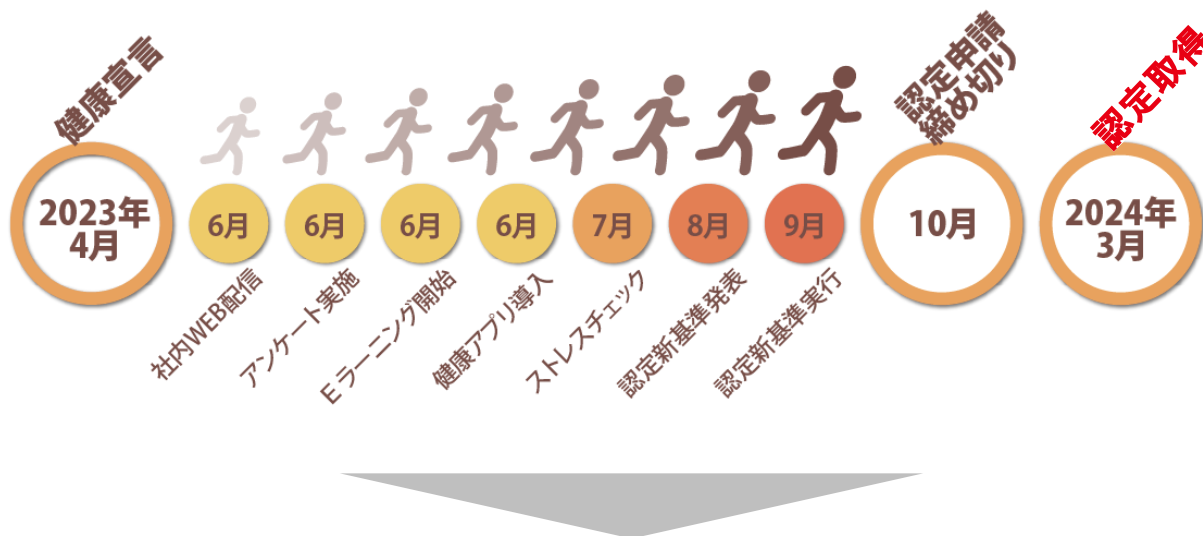
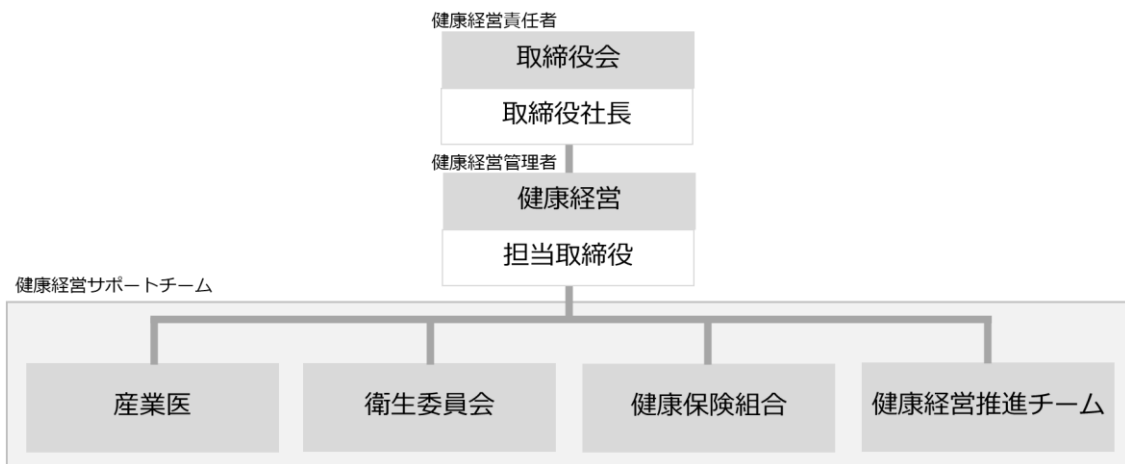


サステナビリティ活動①

当社は、社員の心と身体をサポートをすること、職場環境の改善に努めることを強力に推進するため、新たに「健康宣言」を制定し、健康経営体制を構築していきます。

「健康宣言」

1. 「企業理念」の実現のためには、社員の健康なくして会社の成長なしという認識のもと、すべての社員がいきいきと働くことができる職場を実現していきます。
1. 社員と会社で一体となって、社員とその家族の心と身体健康保持・増進に向けたあらゆる取組みを進めていきます。
1. 健康を最優先する意識の醸成を図り、社員一人ひとりが自立的に活動を実践する健康文化を構築していきます。

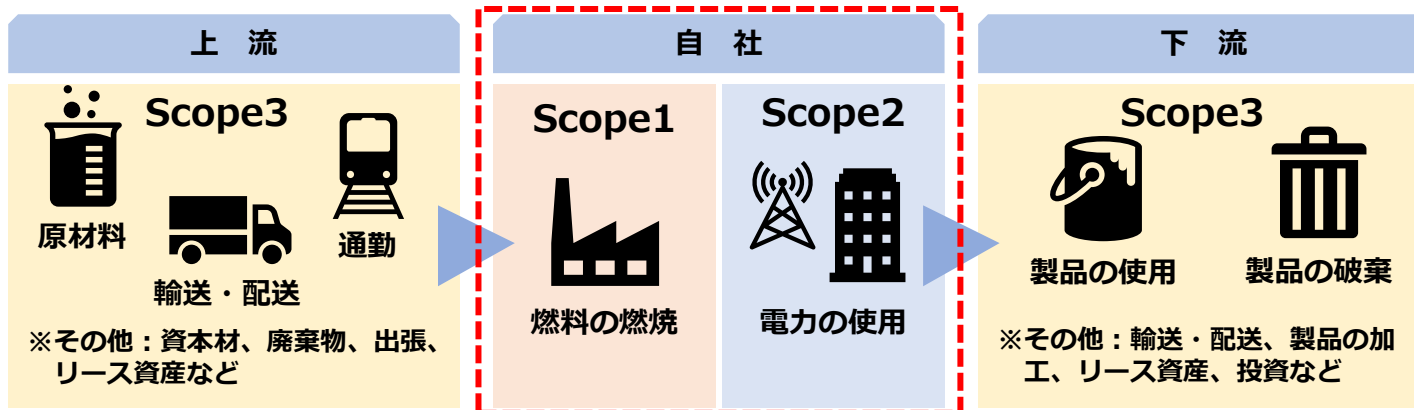


菊水化学工業株式会社は、この度、経済産業省の健康経営優良法人認定制度により、優良な健康経営を実践している大規模法人として、「健康経営優良法人2024」に認定されました。今後も、健康経営を継続的に推進し、従業員の健康と活力向上、そして企業価値の向上に努めてまいります。

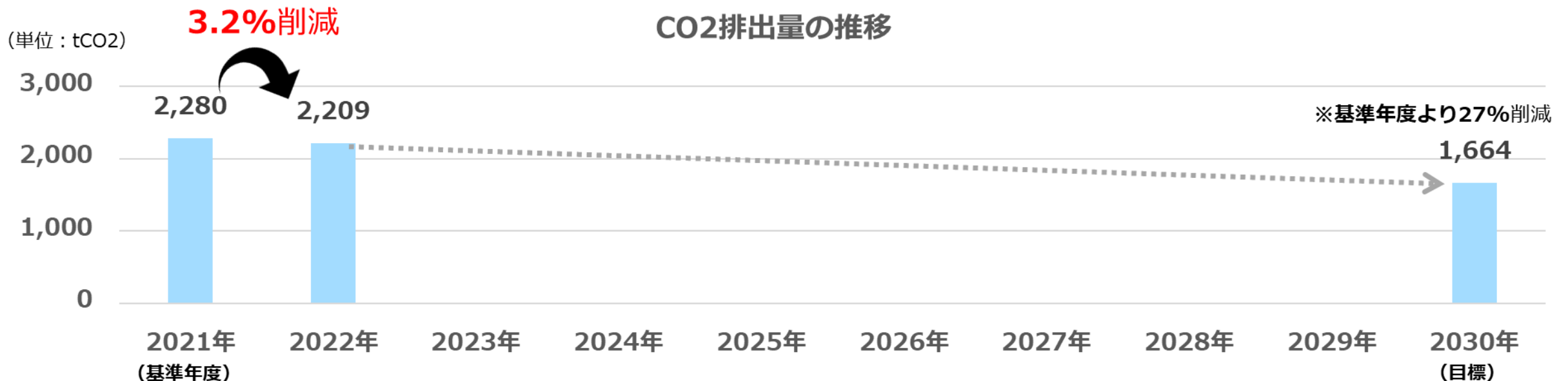


サステナビリティ活動②

2021年（65期）を基準年として、Scope 1, 2 を2030年まで**年率3%削減**を目標としています。2022年度は、工場の老朽化に伴う設備増強で使用電力が増加しましたが、各務原工場に設置した太陽光発電が稼働した事で、電力によるCO2排出量で年率3%削減の目標を達成しました。



2022年10月より、各務原工場に設置した太陽光発電が稼働しました。太陽光発電の稼働により、年間使用電力の約20～25%を再生可能エネルギーに切り換える事ができます。



サステナビリティ活動③

＜女性活躍推進＞

当社は、社是「みんなのために よりよい商品 ゆたかな愛情」のも女性従業員をはじめ、すべての従業員がいきいきと能力を発揮して、安心して働ける環境づくりを目指しています。

女性交流会 (WEB開催)



＜人材育成＞

全従業員を対象にした階層別教育／共通研修／選択研修の体制を再構築しました。



入社年数イメージ	1年目～＜一般職＞	8年目前後＜指導職＞	＜管理職＞
研修目的	社会を知る 仕事を知る	1人で仕事を任される 後輩を支える 問題解決力を高める スキルを高める	組織のリーダー、部下を管理し 組織としての成果を出す マネジメント力や 判断能力を高める
kikusui College 階層別研修	新入社員研修 2年目研修 指導職前研修	リーダー研修 管理職前研修 －	管理職研修 業務改善研修 幹部研修
共通研修	ビジネススキル研修／健康研修 － ハラスメント研修		
kikusui Academy 選択教育	社内教育編／製品・施工編／一般教育編		

＜キャリア教育支援＞

名古屋市内の中学生、高校生の受入れを実施しました。働く事の「楽しさ」「難しさ」や、企業が取り組むSDGs、塗料の作り方などを伝える機会となりました。



＜社員提案制度＞

当社の従業員が、会社業績への貢献（売上拡大、経費削減）、社員の経営参画意識の向上、社員の問題解決力向上、社員のモチベーション向上を目的に「T-1グランプリ」を開催しました。



本資料に記載されている将来の目標、予測、戦略に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は、今後の様々な要因により、これらの業績予測とは大きく異なる可能性がある事をご承知おき下さい。

本資料及び当社のIRに関するお問い合わせ先
菊水化学工業株式会社 管理本部
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄一丁目3-3
[TEL:052-300-2222](tel:052-300-2222)(代)

